

令和元年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

令和元年6月7日



発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合

付着稚貝が増加しています。

< 調査結果の概要 >

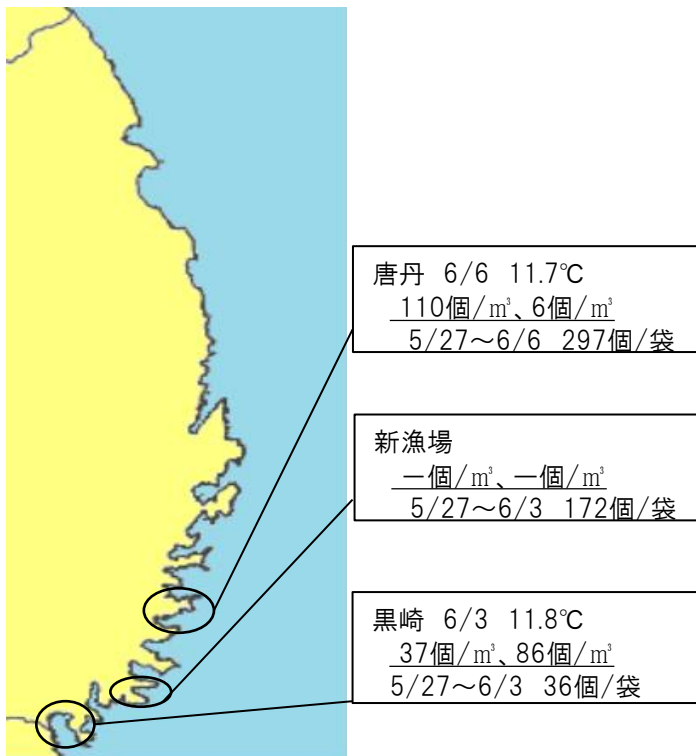
- 6月6日の唐丹湾の水深10m層水温は11.7℃で、透明度は11.0mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバの出現が継続しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは297個体（5/27～6/6）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち付着直後の稚貝は101個（34%）でした。
- 唐丹湾における1週間あたりの付着稚貝数が増加しています。
- 県内の他の地区でも付着が継続しています。

< 青森県の状況（5月30日発行ホタテガイ採苗速報（第9報）） >

ホタテガイの付着はかなり多くなっており、大量付着している場合は6月中旬に間引きをする必要あり。

< 宮城県の状況（6月6日発行ホタテガイ採苗通報（第7報）） >

引き続き付着稚貝数が増加。



調査点	調査日	水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月13日頃に
発行する予定です。

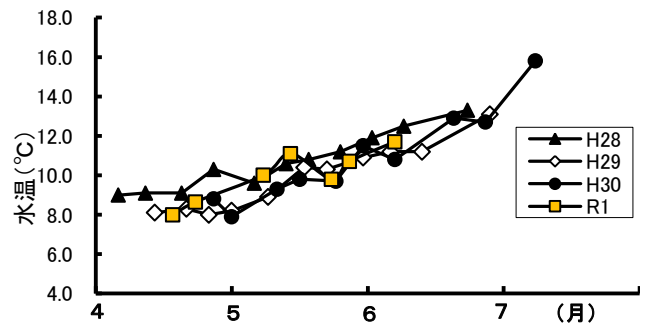


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

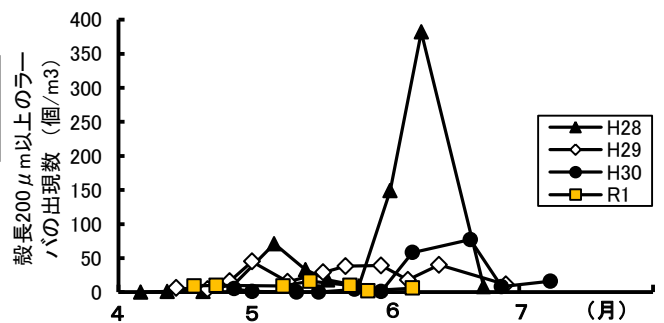


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

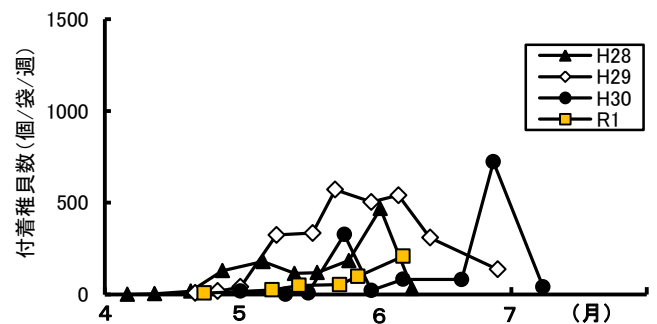


図4 唐丹湾における1週間あたりのホタテガイ付着稚貝数